

令和5年度

宮崎市介護支援専門員連絡協議会

総会



令和5年4月21日(金) 14:00~16:00

宮崎市民プラザ 4階 ギャラリー

議事

議案第1号 令和4年度事業報告

議案第2号 令和4年度収支決算報告

議案第3号 役員の選任について

報告第1号 令和5年度事業計画

報告第2号 令和5年度収支予算

報告第3号 事務局体制について

【議案第1号】

令和4年度 事業報告

1. 定例会・総会・研修会

開催日時及び場所	内 容	参加人数
令和4年4月15日（金）	<p>【4月定例会】</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>総会については、書面決議とし、議案に関して承認いただく</p>	
<p>令和4年6月10日（金）</p> <p>14：00～16：00</p> <p>Z o o m使用</p> <p>各事業所又は個人</p>	<p>【6月定例会】</p> <p>■研修</p> <p>「新型コロナウイルス等感染症予防 ～クラスターを防ぐために地域でできること～」</p> <p>講師：邊木園 幸氏（宮崎県立看護大学 准教授）</p> <p>■連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市からの連絡事項 ・宮崎県介護支援専門員協会からのお知らせ <p>※オンライン研修</p>	155名
<p>令和4年7月29日（金）</p> <p>14：00～16：00</p> <p>Z o o m使用</p> <p>各事業所又は個人</p>	<p>【施設ケアマネ研修会】</p> <p>■研修</p> <p>「実効性のあるBCP ～現場のリスクマネージャーが伝授～」</p> <p>講師：三上 信氏、吉川 美智子氏 (東京海上日動ベターライフサービス株式会社)</p> <p>※オンライン研修</p>	26名

<p>令和4年8月19日（金） 14：00～16：00</p> <p>Z o o m使用 各事業所又は個人</p>	<p>【8月定例会】</p> <p>■研修 「利用者の望む暮らしに向けたケアマネジメント ～本人の意思を尊重する支援～」 講師：川崎 順子氏（九州保健福祉大学 教授）</p> <p>■連絡事項 ・宮崎市からの連絡事項</p> <p>※オンライン研修</p>	<p>118名</p>
<p>令和4年9月14日（水） 14：00～15：00</p> <p>Z o o m使用 各事業所又は個人</p>	<p>【相談サポート委員会】</p> <p>■研修 「初歩的な Zoom の操作方法の確認とケアマネジャー の連携（小規模多機能型居宅介護事業所）」 講師：投山理事（相談・サポート委員会）</p> <p>※オンライン研修</p>	<p>15名</p>
<p>令和4年9月30日（金） 14：00～16：00</p> <p>Z o o m使用 各事業所又は個人</p>	<p>【施設ケアマネ研修会】</p> <p>■研修 「施設における苦情・クレーム対応研修」 講師：本田 鷹氏（株式会社 ENTOWA）</p> <p>※オンライン研修</p>	<p>22名</p>
<p>令和4年10月21日（金） 13：30～16：30</p> <p>清武文化会館 小ホール または、 Z o o m使用 各事業所又は個人</p>	<p>【10月定例会】</p> <p>■研修 「障害福祉とのマリアージュⅣ ～ひきこもりから8050問題を考える～」 講師：境 泉洋氏（宮崎大学 教授） 上原 留香氏（ひきこもり地域支援センター）</p> <p>■連絡事項 ・宮崎市からの連絡事項</p> <p>※宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会（MSR）との 共同開催 ※ハイブリッド型研修</p>	<p>199名 （MSR会 員含む）</p>

		
<p>令和4年11月22日（火） 10：00～15：00</p> <p>Z o o m使用 各事業所又は個人</p>	<p>【施設ケアマネ研修会】</p> <p>■研修 「認知症・精神疾患の方へのアプローチ」 講師：押川 奉史氏（精神保健福祉士）</p> <p>※オンライン研修</p> 	<p>22名</p>
<p>令和4年12月9日（金） 14：00～16：00</p> <p>宮崎市民プラザ 4階ギャラリー または、 Z o o m使用 各事業所又は個人</p>	<p>【12月定例会】</p> <p>■研修 「居宅介護支援事業所向けのBCP ～介護支援専門員に求められる役割について～」 講師：本田茂樹氏（ミネルヴァ・ベリタス株式会社）</p> <p>■連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市からの連絡事項 ・宮崎県介護支援専門員協会からのお知らせ <p>※ハイブリッド型研修</p> 	<p>148名</p>

<p>令和5年2月10日（金） 14：00～17：00</p> <p>Z o o m使用 各事業所又は個人</p>	<p>【2月定例会】</p> <p>■研修 「法的根拠を押さえたケアマネジメント ～運営指導の仕組みの理解と活用～」 講師：後藤佳苗氏（あたご研究所 所長）</p> <p>■連絡事項 ・宮崎県介護支援専門員協会からのお知らせ</p> <p>※東諸県ブロックとの共同開催 ※オンライン研修</p>	<p>118名</p>
<p>令和5年3月10日（金） 18：30～20：00</p> <p>Z o o m使用 各事業所又は個人</p>	<p>施設・相談サポート研修会</p> <p>■テーマ 「施設ケアマネジャー同士でネットワークを深めよう」</p> <p>※オンライン研修</p> 	<p>23名</p>

定例会は4月から2か月に1回の割合で開催予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4月は開催を中止とした。6月、8月、2月はオンライン研修、10月は宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会との共催でハイブリッド型研修、12月もハイブリッド型研修と、その時々新型コロナウイルス感染状況も踏まえながら、状況に応じた形態での研修会を実施した。

定例会以外でも、7月、9月、11月には施設ケアマネジャーを対象とした研修会、9月には相談・サポート委員会主催研修会、3月には施設支援研修委員会と相談・サポート委員会の共催による研修会（情報交換会）を開催した。

また、10月定例会と2月定例会は、主任介護支援専門員更新研修の受講要件を満たす研修会として実施することができた。

2. 役員会

定例の会議を2ヶ月に1回開催し、主に定例会の打合せや委員会活動について協議を行った。合計6回の会議を開催した。

また、10月定例会開催に向けて、宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会との会議、2月定例会に向けて東諸県支部との会議を実施した。

宮崎市地域包括ケア推進課との協議、情報交換も行った。

6月には日本介護支援専門員協会全国大会が宮崎市で行われたが、当協議会の牛谷監事（開催県大会長）、坂本副会長（実行委員長）を始め、多くの役員が実行委員、ボランティア、演者等として、大会に協力した。

3. 各種委員会への出席

- 宮崎市地域包括支援センター運営協議会：投山
- 宮崎市高齢者福祉計画等推進協議会：富岡
- 宮崎市消費者トラブル防止ネットワーク会議：富岡
- 宮崎市高齢者障がい者虐待防止ネットワーク運営委員会：岩切
- 宮崎東諸県在宅医療介護地域協議会：岩切
- 宮崎市難病対策地域協議会：坂本
- 宮崎・東諸県認知症地域支援ネットワーク推進委員会：今別府

4. 委員会

より効果的な会員の資質向上や業務推進の支援を目的とした4つの常任委員会を設置して、各事業を実施した。

各委員会の活動報告は次のとおりとする。

広報・渉外委員会 令和4年度事業報告

1. 委員構成

委員長：岩切 周也
委員：日高 陽子 池松 正司 宮田 美香
担当理事：村山 圭太

2. 活動目的

- ①ホームページの掲載内容の充実化並びにタイムリーな情報の発信。
- ②年2回発行する広報誌を活用し、当協議会の活動紹介・宮崎市の介護事業所や介護支援専門員の紹介など介護支援専門員に関係する情報の発信。（専門的な情報の発信だけではなく、気分転換が図れるよう動物の映像などを取り入れるなど、今までにない広報誌の発行にも努める。）
- ③ホームページや広報誌等を活用し、協議会の魅力などを発信していくことで、新規会員の獲得を図る

3. 活動内容

＜会議＞

- (1) 令和4年5月13日（金） オンライン開催
 - ・理事会の協議内容報告、年度活動予定の協議（広報誌発行時期・内容、渉外活動等）
- (2) 令和4年11月21日（金） オンライン開催
 - ・理事会の協議内容報告、下半期活動内容の協議（広報誌発行時期・内容の検討、ホームページ、渉外活動について等）

＜広報誌の発行＞

- ・令和4年8月・令和5年2月に発行し、会員メールやホームページ掲載による配布。
※記事作成にご協力いただいた方々（行政・事業所を含む）には、広報誌（冊子）を準備して、お渡しした。

＜ホームページ＞

- ・当協議会の研修案内や活動報告をはじめ、行政・他団体等から届く案内等の掲載。
- ・ホームページの充実化を図る目的として、会員向けに「ホームページ・当連絡協議会に関するアンケート」をホームページ内に掲載。

＜渉外活動＞

- ・施設支援研修委員会主催の研修終了後、新規入会の案内（職能団体が担う役割や取り組み、研修に関する案内など）を実施。

4. 総括

広報・渉外委員会として、活動の目的に掲げていた年2回の広報誌作成と配布、定期的なホームページ更新・ケアマネ向けの情報発信、施設向け研修会終了後の渉外活動などを概ね計画通りに行えた。広報誌の作成にあたっては、介護保険に関係する内容に限らず、ヤングケアラー問題、若年性アルツハイマー型認知症を知ることのできる映画の紹介、ケアマネ全国大会 in みやぎの裏側紹介など様々なテーマで作成し、読む方に新しい学びや楽しんでもらえるような広報誌作成を目標にしてきたので、会員の皆さんが学び楽しんでいただけるような広報誌に仕上がっていたと願う。

渉外活動については、施設ケアマネ向けの研修会に参加し当協議会の活動紹介や県協会の取り組み(キャンペーンの紹介など)を行ったが、限られた時間・回数での活動になってしまうため、納得のいく活動ができたとは言い難い。今後の活動方法について検討する必要がある。

ホームページでの情報発信については、掲載する情報の充実化を図るため、当協議会の情報発信だけではなく、関係団体や行政から届く情報なども可能な範囲で掲載した。ホームページに関しては、会員目線での充実化が図れるよう、アンケートの実施などで意見を集めていきたい。

広報・渉外委員会の活動に関して、多少の改善点などがあるものの、活動目的を概ね達成できたと考える。

施設支援研修委員会 令和4年度事業報告

1. 委員構成

委員長：辻脇茂幸

委員：津貫大悟 富高美由紀 申間伸悟 御手洗みさお

担当理事：長友崇稔

2. 活動目的

- 昨年の会員アンケートを参考に会場型研修・オンライン研修の企画。
- 施設の介護支援専門員同士の情報交換会を開催する。
- 新規会員獲得に向けた活動。非会員を対象にした研修企画

3. 活動内容

<会議>

令和4年5月9日 ZOOM会議
新年度の挨拶・今後の活動内容について
7月研修会の内容確認

令和4年6月22日 ZOOM会議
7月研修企画(日程・講師・役割)
9月研修会の内容確認

令和4年8月8日 ZOOM会議
9月研修会企画(日程・講師・役割)

令和4年8月29日 講師との事前打ち合わせ

令和4年10月7日 ZOOM会議
11月研修会企画(日程・講師・役割)

令和4年12月15日 ZOOM会議
施設支援委員会・相談サポート委員会
合同研修会に向けて打ち合わせ

令和5年3月6日 ZOOM会議
3月研修会企画(日程・講師・役割)

<研修>

- 令和4年7月29日(金) ZOOMフルリモート研修会
「事業継続計画・実効性のあるBCP」
講師 東京海上日動ベターライフサービス株式会社
リスク管理 グループリーダー 上三 信様
課長 古川 美智子様
(参加者人数)会員22名・非会員 4名
- 令和4年9月30日(金) ZOOMフルリモート研修会
「施設における苦情・クレーム対応」
講師 エフ・ステージ通所介護Ⅰ管理者
長崎県認知症介護指導者 本田 鷹様
(参加者人数)会員19名・非会員 3名
- 令和4年11月22日(火)
「認知症・精神疾患の方のアプローチ」
講師 宮崎県精神保健福祉士会 会長
訪問看護ステーションたすと 代表
押川 奉史様
(参加者人数)会員19名・非会員 3名
- 令和5年3月10日(金)
「施設ケアマネジャー同士のネットワークを深めよう」
講師 宮崎市介護支援専門員連絡協議会
施設支援委員会・相談サポート委員会
(参加者人数)会員 16名・非会員 7名

4. 総括

本年度もコロナウイルスの影響にて、役員会議はZOOMによるフルリモートで開催した。

昨年より、ZOOMを活用した研修会が各方面で開催されている中、施設支援委員会でも年4回の研修会を開催する事ができた。

通信トラブルや研修会を中断する事もなく、無事に研修会を終了する事ができた事は大きな一歩だと思っている。

研修会の対象者は宮崎市施設150(会員・非会員)を超える事業所に向けて発信。

今年度より、非会員の参加者には、研修受講料の徴収を行い、会員となれば無料で受講できるメリット等を伝え続けて、新規獲得を目指した。

毎回、アンケートを実施して、今後の活動に活かせるよう取り組みを行う。

その中でも、施設介護支援専門員は現場との兼務が多く、研修会に参加したいが、参加で

きない日の方が圧倒的に多いとのことであった。

今後、質の高い研修会を開催して、現場で活かせるようになれば、事業所内で積極的に参加できる環境になるのではと考えております。

次年度、会場型研修の企画を検討しながら、状況に合わせてオンラインZOOMを活用して定期的にも実施。会員・非会員に向けて発信する。

相談・サポート委員会 令和4年度事業報告

1. 委員構成

委員長：大山 哲弘

委員：荒木 智治 森永 久子 坂井 省悟

担当理事：投山 誠志郎

2. 活動目標

- ①多くの会員の皆様が、Zoom等のICT機器を活用できる為に、気軽に相談できる初歩的なZoom操作方法の習得研修会の開催を実施。
- ②居宅、各施設ケアマネジャー間の情報交換やネットワーク作りを行う。

3. 活動内容

<会議>

- 第1回 令和4年6月22日 : JCHO 宮崎江南病院居宅介護支援センター 相談室
- 第2回 令和4年7月24日 : 相談サポート委員会グループLINEにて
- 第3回 令和4年9月13日 : Zoom開催
- 第4回 令和4年12月15日 : Zoom開催
- 第5回 令和5年3月6日 : Zoom開催
- 第6回 令和5年3月15日 : Zoom開催

* 随時、LINE・Mail・電話等にて情報交換を実施

<研修>

Zoomの基本的操作と各施設、居宅介護支援専門員の情報交換やネットワーク作り

- ① 介護老人保健施設の施設介護支援専門員を対象
令和4年8月24日 14:00~15:00 →3名希望 コロナ感染拡大にて中止
- ② 介護老人福祉施設の施設介護支援専門員を対象
令和4年8月31日 14:00~15:00 →2名希望 コロナ感染拡大にて中止
- ③ 小規模多機能型居宅介護の施設介護支援専門員を対象
令和4年9月14日 14:00~15:00 →5名参加 実施
- ④ 居宅介護支援事業所(令和4年10月以降に複数回に分けて実施) →未実施
(施設支援研修委員会との連携研修)
- ⑤ Zoom研修会のアンケートより施設ケアマネジャーが、必要としているケアプラン作成に関する悩みや役割等について研修の企画、実施。(非会員も無料参加)
テーマ:「施設ケアマネジャー同士でネットワークを深めよう」
令和5年3月10日(金) 18:30~20:00 →12名参加 (内訳:会員5名 非会員7名)

4. 総括

今年度は、新型コロナウイルス感染症の対策にて集合研修が今後も困難である事から、ICT 機器等に自信を持って対応できるケアマネジャーをサポートする為に、昨年度より開始した施設ケアマネジャーを対象とした Zoom 操作方法の習得研修会の開催の計画を行った。

しかし、新型コロナウイルス感染者が増大した為に施設ケアマネジャーも感染者等の対応に追われる事態となり参加者も少数となり研修開催が困難となってしまった。

また、年末から年始にかけても新型コロナウイルス感染者が多く、予定していた居宅ケアマネジャー対象の研修会は企画のみで実施に至らなかった。

この様に、新型コロナウイルス感染症に振り回された1年であったが、3月に当連絡協議会初の施設支援委員とのコラボ企画として、全施設を対象（非会員も含む）とした研修会を開催することができた。

次年度は、可能な限り対面でのケアマネジャー同士の「つながり」や「輪」をつなぐ場としての企画や「医療と介護の連携」の橋渡しを担っていきたい。

スキルアップ・研修委員会 令和4年度事業報告

1. 委員構成

委員長：畠中 貴憲

委員：山下 裕行、前田 一路、猿渡佐代子

担当理事：中島 晋太郎

2. 活動目的

テーマ「地域共生社会で行動できる介護支援専門員になる為に実践力を高めよう」

すでに地域包括ケアシステムの基盤強化が進み、地域共生社会も様々な形で、実現されてきている。その中で、必要とされるのは「全世代」を対象としたケアマネジメント力である。

そのためには、あらゆる福祉分野の知識や実情も学ぶ機会が必要である。私たちが地域共生社会のコーディネーターを担う存在になり、これから求められるあらゆる 課題に対し、専門性を発揮する事ができるよう、個々の会員の実践力向上に資する 研修の開催を目指す。

3. 活動内容

<研修>

令和4年6月10日

テーマ「新型コロナウイルス等感染症予防

～クラスターを防ぐために地域でできること～」

講師 邊木園 幸 氏（宮崎県看護大学 准教授）

令和4年8月19日

テーマ「利用者の望む暮らしに向けたケアマネジメント」

講師 川崎 順子 氏（九州保健福祉大学 教授）

令和4年10月21日〈宮崎県障がい相談支援事業連絡協議会との合同研修会〉

テーマ「障害福祉とのマリアージュⅣ

～ひきこもりから8050問題を考える～」

講師 境 泉洋 氏（宮崎大学 教授）

上原 留香 氏（ひきこもり地域支援センター）

令和4年12月9日

テーマ「居宅介護支援事業所向けのBCP

～介護支援専門員に求められる役割について～」

講師 本田 茂樹 氏（ミネルヴァベリタス株式会社）

令和5年 2月10日

テーマ 「法的根拠に基づくケアマネジメント
～運営指導の仕組みの理解と活用～」

講師 後藤 佳苗 氏（一般社団法人 あたご研究所）

<会議>

① 第1回委員会会議 令和4年5月10日 「Zoom」 ・6月定例会について ・今年度の役割分担について ・年間研修計画について
② 講師：邊木園氏との打合せ会議 令和4年5月20日「Zoom」
③ 第2回委員会会議 令和4年7月6日 「Zoom」 ・6月定例会振り返り ・8月定例会について ・委員間での意見交換会
④ 講師：川崎氏との打合せ会議 令和4年7月7日「Zoom」
⑤ 第3回委員会会議 令和4年10月6日 「Zoom」 ・8月定例会振り返り ・10月定例会について ・12月、2月の研修会について
⑥ 10月研修会会議 令和4年6月22日 「宮崎市社会福祉協議会 2階応接室」
⑦ 講師：境氏との打合せ 令和4年7月5日 「宮崎大学 教育学部 7階 705」
⑧ 講師：滝井氏との打合せ 令和4年8月1日 「宮崎県精神保健福祉センター」
⑨ 10月研修会会議 令和4年9月28日 「宮崎市社会福祉協議会 2階応接室」
⑩ 10月研修会場打合せ 令和4年6月22日 「清武文化会館 事務所 小ホール」
⑪ 講師：本田氏との打合せ 令和4年10月25日 「Zoom」
⑫ 12月定例会の会場打合せ 令和4年11月21日「市民文化ホール」
⑬ 第4回委員会会議 令和4年12月1日 「Zoom」 ・10月定例会振り返り ・12月定例会研修打合せ、役割分担
⑭ 第5回委員会会議 令和5年1月18日 「Zoom」 ・2月定例会研修打合せ、役割分担 ・来年度の研修講師候補について
⑮ 講師：後藤氏との打合せ 令和5年2月3日「Zoom」 ・2月研修の内容と流れの確認 ・東諸県支部役員、宮崎市部役員、スキルアップ委員合同での打合せ
⑯ 第6回委員会会議 令和4年5月22日「市民プラザ内 宮崎市民活動センター」 ・1年の振り返り 本年度報告書と来年度計画書の確認 ・次年度の活動意向確認

4. 総括

今年度研修は、定例会研修会5回/年。内2回の主任ケアマネ更新要件を満たす研修として開催。開催方法はZoom開催を6・8・2月。ハイブリッド開催を10月・12月として実施した。

スキルアップ研修委員会活動目的のテーマである「地域共生社会で行動できる介護支援専門員になる為に実践力を高めよう」について、オンライン研修を主体に感染予防に配慮した研修会の開催を継続的に実践する事ができた。

令和4年度は、感染予防、対人援助、ひきこもり支援、BCP、法的根拠に基づくケアマネジメントをテーマに研修会を開催する事ができ多くの会員の皆様にご参加いただく事ができた。

宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会や東諸県ケアマネジャー連絡会との合同研修会を通して、他団体との連携を強化できたと考える。また昨年度の経験を活かしZoom機能確認や調整・検証を図り、会員の皆様が参加しやすい環境を目指し実践してきた。

事後のアンケートで会員の皆様から頂いたご意見を元に、皆様が明日から実践できるケアマネジメントの知識・スキルの提供ができるよう、質の向上に努めている。

1回1回の研修において、委員や役員、参加者へ多くの協力を得ながらの実施できたことを感謝申し上げるとともに、改善点については、今後の研修の質の向上に役立てたい。

このように、感染症予防による行動自粛の中、定例会、研修会を開催する為に模索した結果、様々な研修体系の必要性を学ぶ事ができた。このノウハウを他委員会でも活用し、次年度もオンライン研修、会場、ハイブリッド開催の質の向上を図り、会員の皆様の専門性を向上できる情報発信・情報交換の場の提供に努めていきたい。

【議案第2号】

令和4年度 収支決算

■収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	増減	摘 要
会費	1,080,000	874,450	▲205,550	交付金内訳：会員540名（×2,000より前年度支部交付金残高223,550差し引き準会員9名×2,000円＝18,000円）
雑収入	0	6	6	利息6円
前年度繰越金	0	290,263	290,263	
収入合計	1,080,000	1,164,719	84,719	

■支出の部

科 目	予算額	決算額	増減	摘 要
事業費	640,000	694,150	54,150	
研修費	400,000	296,000	▲104,000	研修会講師謝礼等
役員会費	95,000	173,000	78,000	役員会活動費 役員報酬
委員会費	110,000	176,000	66,000	委員会活動費 委員報酬
事務局費	30,000	42,000	12,000	事務局報酬、委託費
雑費	5,000	7,150	2,150	振込手数料
事務費	400,000	283,673	▲116,327	
通信運搬費	100,000	60,728	▲39,272	zoom・Wi-Fi使用料等
印刷製本費	35,000	16,500	▲18,500	総会資料印刷
会場費	110,000	60,490	▲49,510	令和5年度定例会会場予約 令和4年度研修会場使用料、会議室使用料
事務委託費	140,000	133,100	▲6,900	Webサイト更新、HP管理
消耗品費	10,000	12,065	2,065	事務用品
雑費	5,000	790	▲4,210	
予備費	40,000	0	▲40,000	
支出合計	1,080,000	977,823	▲102,177	

収入合計	1,164,719	特別会計	
支出合計	977,823	R4年度残高	1,197,188
残高	186,896	施設ケアマネ研修費	28,000
		利息	11
		計	1,225,199

監査報告書

令和4年度の宮崎市介護支援専門員連絡協議会の会計帳簿、領収証、預金通帳等の関係書類を閲覧照合しましたところ、帳簿類は適切に処理されており、収支決算書も正確である事を認めます。

令和5年4月4日

監事 牛谷 義彦 

監事 杉元 剛志 

【議案第3号】

令和5年度 宮崎市介護支援専門員連絡協議会 役員名簿(案)

◆理事

役職名	氏名	所属事業所名	電話	FAX	備考
会長	富岡 賢二	特別養護老人ホーム悠楽園	47-5377	48-3119	
副会長	海老原 千明	ケアライフかなえ	74-5800	74-5801	
事務局長	今別府 大作	芳生あやめ館	71-6338	71-6347	
会計	岩切 尚美	居宅介護支援事業所ほたる	55-0579	55-0589	
スキルアップ 研修委員会	中島 晋太郎	特別養護老人ホーム城ヶ崎小戸の家	83-0017	83-0022	
広報・渉外 委員会	村山 圭太	一般財団法人弘潤会 本部事務局	51-3111	51-3114	
相談・サポート 委員会	投山 誠志郎	宮崎江南病院附属居宅介護支援センター	50-6070	50-6076	
施設支援研修 委員会	長友 崇稔	グループホームさんあい	83-2628	83-2664	
会計	富山 ハルミ	宮崎市住吉地区地域包括支援センター	65-8080	36-3370	新

◆監事

監事	牛谷 義秀	クリニックうしたに	52-8080	52-8088	
監事	楠元 剛志	相談支援センター明照	74-4769	74-4779	

◆顧問

顧問	嶋田 喜代子	元)宮崎市木花・青島地区地域包括支援センター	32-6793	32-6793	
顧問	坂本 増美	社会福祉法人親和会	23-5283	23-5392	

◆事務局

担当	山内 秀一郎	社会福祉法人凌雲堂 宮崎在宅介護支援センター	47-5759	48-1284	
----	--------	---------------------------	---------	---------	--

【報告第1号】

令和5年度 事業計画

〈基本方針〉

当協議会は、宮崎市の介護支援専門員が一社会人としての品格を持つとともに、専門職者としてのスキル向上に継続的に取り組み、宮崎市民の医療・保健・福祉の増進に貢献をしていくことを目指します。

そのために、各種委員会活動の充実を図り、会員の多様な働き方に対応できるよう柔軟な事業展開を図ります。これまでの3年間、新型コロナウイルス感染症の影響で取り組むことができなかった事業についても、感染症法上の分類が5類に変更になることから、見直しを図っていきます。

国・県・市の三層構造については、より強固な団体となるために、今後も日本介護支援専門員協会、宮崎県介護支援専門員協会との連携強化を図り、介護支援専門員の社会的地位の向上にも尽力していきます。

また、近年頻度や規模が拡大している災害や感染症等のリスクに対して、迅速に対応できるように他機関と有機的なネットワークを構築していきます。

1. 重点目標

介護支援専門員としてのスキルアップ及び社会的地位の向上を目指し、介護支援専門員の多様な活躍を支援していきます。

また、利用者支援が円滑に遂行できるよう、保険者等の行政機関と協働し政策提言をしていきます。

コロナ禍で希薄となった会員同士、また他職種との交流を再開させ、お互いの連携が強化できるよう支援します。

2. 重点課題

- (1) 介護支援専門員間及び関係機関、行政等との円滑な連携
- (2) 介護支援専門員の業務支援（ケアプラン作成研修）
- (3) 感染症管理を含めた利用者と介護支援専門員の衛生管理
- (4) 介護支援専門員の働き方支援（ICTの実践活用）
- (5) 緊急時や災害時に発揮できる対応力の習得
- (6) 協議会体制の維持
 - ① 会員加入の促進および離職の理由分析
 - ② 各種委員会活動の充実
 - ③ ホームページ活用による情報公開と遠隔講義の受講

3. 具体的事業

具体的な事業については、今後、各種委員会で検討していきますが、定例会は原則以下の日程で開催する予定です。（時間は14時00分～16時00分）

* 主任介護支援専門員の更新要件を満たす研修は、研修内容・時間配分を規定に添って企画・運営し

てまいります。

<定例会（予定）>

	開催日	場所	備考
4月総会	4月21日（金）	宮崎市民プラザ ギャラリー	
6月定例会	6月23日（金）	宮崎市民プラザ ギャラリー	
8月定例会	8月17日（木）	宮崎市民プラザ ギャラリー	
10月定例会	10月19日（木）	宮崎市民プラザ ギャラリー	
12月定例会	12月15日（金）	宮崎市民プラザ ギャラリー	
2月定例会	2月9日（金）	宮崎市民プラザ ギャラリー	

※新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、開催方法については検討いたします。

4. 委員会活動

各委員会の活動計画は次のとおりとする。

広報・渉外委員会 令和5年度事業計画

1. 委員構成

委員長：岩切 周也

委員：日高 陽子 池松 正司 宮田 美香

担当理事：村山 圭太

2. 活動目標

- ①ホームページや広報誌を活用し、様々な情報の発信
- ②新規会員の獲得と既存会員の満足度向上
- ③ホームページの充実化

3. 活動内容

- ①ホームページや広報誌を活用し、当協議会や行政・関係団体等の取り組みの発信や紹介
 - ・理事会や各委員会の活動報告等をホームページに掲載するなど、当協議会並びに各種委員会の活動内容の紹介
 - ・当協議会主催のweb研修等に関する事項
 - ・行政や関係団体等から届いた情報の発信や周知
 - ・広報誌の発行（年2回夏・冬頃を予定）
- ②新規会員の獲得と既存会員の満足度アップ。
 - ・職能団体の取り組みなどを紹介し、新規会員の獲得を目指す
 - ・アンケート等で得られた情報を基に会員向けの取り組みを充実させることで、既存会員の満足度向上につなげる
- ③ホームページの充実化
 - ・当協議会会員向けにホームページに関するアンケート調査を実施
 - ・新しい情報やオリジナリティのある情報などの発信

施設支援研修委員会 令和5年度事業計画

1. 委員構成

委員長：津貫 大悟

委員：富高 美由紀 串間 伸悟 高松 孝綱

担当理事：長友 崇稔

2. 重点目標

- 施設の介護支援専門員が求めている研修企画。
- 介護支援専門員同士の交流会を開催する。
- 新規会員獲得にむけた活動。非会員にむけて研修会の発信。

3. 活動内容

<研修会の開催>

(回数) 年3回(研修企画未定。委員会で決定)

(内容) アンケート実施。会員・非会員の介護支援専門員が求めている企画

(対象者) 宮崎市介護支援専門員連絡協議会会員及び非会員

<交流会の開催>

(回数) 年1回(未定)

(内容) 施設の介護支援専門員同士が交流できるよう、意見交換を行う等、顔の見える関係を作る場を提供する。

(対象者) 宮崎市介護支援専門員連絡協議会会員及び非会員

<新規会員獲得にむけた活動>

- ・非会員の事業所へ研修企画を発信。
- ・研修開催の場で、非会員に対して入会案内等を配布する。

相談・サポート委員会 令和5年度事業計画

1. 委員構成

委員長：大山 哲弘

委員：荒木 智治 森永 久子 坂井 省悟

担当理事：投山 誠志郎

2. 活動目標

- ①ケアマネジャー同士の交流が促進できる機会を作る。
 - ・語り合いの場の企画と実施。
 - ・居宅、全施設ケアマネジャー間の情報交換やネットワーク作り。
- ②医療と介護の連携強化のための研修を開催する。

3. 活動内容

- 1、ケアマネジャー同士の交流やつながりが持てるイベントの開催。
- 2、全施設ケアマネジャーを対象とした集合形式での意見交換会の開催。
- 3、多職種（医療機関）との連携を深める為の研修会の開催。

〈定期的な相談サポート体制と研修〉

- ・会員の皆様が必要としている情報や共有を図れる日々のサポートを行う。

スキルアップ・研修委員会 令和5年度事業計画

1. 委員構成

委員長：畠中 貴憲

委員：山下 裕行 前田一路 猿渡佐代子

担当理事：中島 晋太郎

2. 重点目標

テーマ「地域共生社会の中で頼られる介護支援専門員になる為、研修で輪を広げよう！」

多様性が求められる社会で、一人の介護支援専門員のみで、対応が困難となってきている。相談や連携を少しでも取りやすくする為に、会員皆様が楽しく研修に参加し、その輪を広げられるような研修の開催を目標に活動する。

一人ケアマネの方も、新人の方も、中堅さんも、ベテランさんもみんなと一緒に学び合い、相談し合える仲間づくりや笑顔のある研修会を目指す。

研修時期と研修テーマについては、下記を予定している。

6月：対人援助技術について

8月：災害時の行動とBCPについて～宮崎市の水害対策～

10月：地域共生社会について～障がい福祉とのマリアージュV～

12月：よりよい記録で素敵なコミュニケーション

2月：法的根拠を押さえたケアマネジメント

3. 活動内容

テーマに基づいた講師依頼、研修企画、準備、開催、楽しく輪を広げられる様な工夫（グループワークや会場開催）、アンケートの実施、会員の皆様が安心して研修を受けられるように運営する。また、他委員会、他団体との連携を意識し、みんなで楽しく研修参加できる様に努める。

また、一緒に活動してもらえる仲間を募集し、活動しやすい環境を提供する。

※研修会計5回についての詳細は定例会 1 か月前に事務局よりメール等でご案内する。

【報告第2号】

令和5年度 収支予算（案）

■収入の部

（単位：円）

科 目	本年度予算 (令和5年度)	前年度予算 (令和4年度)	増減	摘 要
会費	1,100,000	1,080,000	20,000	交付金：会員550×2,000
雑収入	0	0	0	
収入合計	1,100,000	1,080,000	20,000	

■支出の部

科 目	本年度 (令和5年度)	前年度 (令和4年度)	増減	摘 要
事業費	760,000	640,000	120,000	
研修費	350,000	400,000	▲ 50,000	研修会講師謝礼等
役員会費	165,000	95,000	70,000	役員会活動費 役員報酬
委員会費	200,000	110,000	90,000	委員会活動費 委員報酬
事務局費	40,000	30,000	10,000	事務局報酬
雑費	5,000	5,000	0	振込手数料他
事務費	335,000	400,000	▲ 65,000	
通信運搬費	60,000	100,000	▲ 40,000	Zoom、wifi使用料等
印刷製本費	30,000	35,000	▲ 5,000	資料 広報誌
会場費	90,000	110,000	▲ 20,000	R6年度分定例会会場予約分 R5年度会場使用料
事務委託費	140,000	140,000	0	web管理, 更新委託料
消耗品費	10,000	10,000	0	消毒液等の感染対策品購入
雑費	5,000	5,000	0	コピー用紙、封筒他
予備費	5,000	40,000	▲ 35,000	市外、他県研修参加費、交通費、災害備品等
支出合計	1,100,000	1,080,000	20,000	

【報告第3号】

事務局体制について

令和5年度事務局を下記の事業所内に置く。

<令和5年度事務局事業所>

社会福祉法人凌雲堂 宮崎在宅介護支援センター

住 所 : 〒880-2112
宮崎市大字跡江2366番地
電 話 : 0985-47-5759
FAX : 0985-48-1284

宮崎市介護支援専門員連絡協議会会則

(名 称)

第1条 本会は、宮崎市介護支援専門員連絡協議会とする。

(目 的)

第2条 本会は、介護支援専門員としての役割を十分認識し、利用者へのより良いサービスを提供するために、研修及び情報交換等を通じ、会員相互の連携と資質の向上を図ることを目的とする。

(活動内容)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 介護保険やその他の福祉サービス等に関する情報の収集
- (2) 資質向上のための事例検討や研修
- (3) 会員間の連携を深めるための情報交換
- (4) 本会の活動を周知するための広報活動
- (5) 関係機関との連絡調整
- (6) 介護保険制度上の様々な問題への取り組み
- (7) その他、必要と認められる活動

(会員及び会費)

第4条 本会の会員は、宮崎市内の介護支援専門員等で、一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会（以下「県協会」という。）及び一般社団法人日本介護支援専門員協会（以下「日本協会」という。）の会員とする。

ただし、県協会の準会員である本会の会員は、日本協会への入会は任意とする。

- 2 県協会の準会員である本会の会員は、県協会とは別途にその年度の会費を本会に納入した者とし、年会費の額は2,000円とする。
- 3 既納の会費及びその他の拠出金品は返還しないものとする。

(会員の資格喪失)

第5条 会員が、県協会及び日本協会を退会したときは、その資格を喪失する。

(運営費)

第6条 本会の運営費は、県協会からの支部交付金及び県協会の準会員である本会の会員の会費を充てることとする。

(役員)

第7条 本会に次の役員を置く。

(1) 理事

(2) 監事

- 2 役員の数については、会の運営に必要な人数を総会において補充することができる。
- 3 役員を選出にあたっては、医療・保健・福祉のあらゆる分野から総会において選任するものとする。

(会長、副会長の選任及び役割)

第8条 本会の理事の互選により、会長、副会長を選任する。

- 2 会長は、本会を代表し、会を総括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 4 監事は、会長が会員の中から選任し、監事は会の活動を監査し求められた時に助言指導を行うものとする。
- 5 理事は、会の円滑な運営にあたり、議決を行うものとする。
- 6 会計担当理事は、会長が理事の中から選任する。

(理事の選出及び任期)

第9条 理事は、会員の互選とし、総会にて選出する。

- 2 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する総会の終結のときまでとし、再任は妨げないものとする。
- 3 前項の規定にかかわらず会長、副会長の任期は1期2年とし、最長3期までとする。

(顧問)

第10条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、会長その他の役員求めに応じ、本会の活動及び運営に必要な助言を行う。

(委員会の設置)

第11条 本会は、本会の目的を達成するために必要な委員会を置くことができる。

- 2 委員会委員は、会員の中から選出するものとする。
- 3 委員会委員の任期は1年とし、再任は妨げないものとする。

(役員等の報酬)

第12条 本会は、役員等に対し、次の各号に定める報酬を支給する。

(1) 会長	年額	10,000円
(2) 副会長・事務局長	年額	8,000円
(3) 理事(会長・副会長・事務局長を除く)・監事・顧問	年額	6,000円
(4) 委員会委員長	年額	5,000円
(5) 委員会委員	年額	4,000円
(6) 事務局員主務	年額	4,000円
(7) 事務局員	年額	2,000円

(総会)

第13条 総会は、会長が招集し開催する。

2 総会は、会員の過半数をもって成立し、議事は出席者の過半数の賛同をもって決定する。

3 総会は、次の事項を決議する。

- (1) 役員を選任
- (2) 会則の変更
- (3) 各事業年度の事業報告及び決算の承認
- (4) その他必要な事項

(役員会)

第14条 会長が必要と認めた時に、役員会を開くことができる。

2 本会の運営に必要な事項が生じた場合、役員会で協議するものとする。

3 役員会は、次の事項を決議する。

- (1) 各事業年度の事業計画及び予算
- (2) 事務局の選任

(事務局)

第15条 本会の事務局は、役員会において選任された会員事業所内に置き、事務局長は、会長が理事の中から選任する。

(事業年度)

第16条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(その他)

第17条 この会則に定めのない事項及びこの会則に必要な規程は、役員会が定める。

付 則

- この会則は、平成13年 9月20日から施行する。
この会則は、平成17年 4月15日から施行する。
この会則は、平成19年 4月20日から施行する。
この会則は、平成21年 4月17日から施行する。
この会則は、平成22年 4月16日から施行する。
この会則は、平成23年 4月 1日から施行する。
この会則は、平成24年 4月 1日から施行する。
この会則は、平成25年 4月 1日から施行する。
この会則は、平成26年 4月 1日から施行する。
この会則は、平成27年 4月17日から施行する。
この会則は、平成29年 4月14日から施行する。